

福祉サービス事業 フリーダム創生
生活介護事業（シオンの家）2018年事業計画

従業員数

管理者（兼務）1名 サービス管理責任者1名

生活支援員16名（内非常勤2名）看護職員1名（非常勤）医師1名（東永）

利用者数（定員23名）

実利用者 身体障害者17名（内車いす利用者17名）知的障害者9名 合計27名

【運営目標】

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。地域との結び付きを重視し、利用者の所在する市町村、他の障害福祉サービス事業者、相談支援事業者、障害者支援施設その他福祉サービス又は保健医療サービスを提供する者との密接な連携に努めます。

障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準に定める内容のほかその他関係法令等を遵守し、事業を実施するものとする。（運営規定より）

- 1、利用者の尊厳をまもり、一人の大人として接しすること。
- 2、安全安心に配慮し未然に事後防止に努めること。
- 3、身体的虐待、ネグレクト、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待を防ぎながら適切な支援を行う。
- 4、重度な障害があっても、創作的活動や生産活動「働く」ことを通して「やりがい」を見出し、自信を持つ。

【サービス（支援）内容】

サービス担当者会議を行い、利用者の個別支援計画を立てます。その計画に基づき情報を共有しながら支援を提供します。

支援内容としまして、身体の介護、生産活動（製菓商品の製造及び仕入れ商品の販売）、創作的活動（紙すき、手芸、さをり）、生活相談、健康管理（バイタルチェック、リハビリテーション、診察）、日常生活に必要な介護、支援、相談、助言を行います。

【支援効果と課題】

- 1、利用者の尊厳をまもり、一人の大人として接しすること。

効果：個人を尊重することは、利用者の自由と生存を尊重することであって、障害があっても平等が保たれます。

課題：障害があるがゆえに立場が逆転することが懸念される

- 2、安全安心に配慮し確認を行い、未然に事後防止に努めること。

効果：実内外の転倒や移乗時の事故、利用者や周りの人への怪我を防ぐことができます。

課題：マンネリ化に伴う確認不足等が起きることが懸念される

- 3、身体的虐待、ネグレクト、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待を防ぎながら適切な支援を行う。

効果：心身ともに安心した利用ができ、適切なサービスを提供することができる。

課題：「これくらい」という安易な事の積み重ねによって虐待が発生する恐れがある。

- 4、重度な障害があっても、創作的活動や生産活動「働く」ことを通して「やりがい」を見出し、自信を持つ。

効果：「働く」ことを意識することにより社会人の一人として、自信がつく。

課題：できないことに目を向ける傾向にあるため、意識が低下することがある。